

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																															
松山デザイナー専門学校	昭和23年4月1日	室 利幸	〒 790-0063 (住所) 愛媛県松山市辻町1-33 (電話) 089-925-6188																															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																															
準学校法人 松山ビジネスカレッジ	昭和41年12月22日	河原 成紀	〒 790-0001 (住所) 愛媛県松山市一番町1丁目4-1 (電話) 089-925-6188																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																														
服飾・家政	服飾家政専門課程	ファッションビューティ学科(ファッションデザイン専攻)	平成23年度文部科学大臣認定	-																														
学科の目的	学校教育法に基づき 服飾家政に関する専門教育、並びに 高度情報化社会に対応した一般教養としての技術習得に関する専門教育を行うことを 目的とする。																																	
認定年月日	平成4年3月25日																																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																											
2年	昼間	1710	450	-	1500	-	-																											
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																													
110人の内数	8人	0人	3人	14人の内数	17人の内数																													
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準:																														
長期休み	■学年始: 4月1日～4月9日 ■夏季: 7月21日～8月31日 ■冬季: 12月25日～1月7日 ■学年末: 3月21日～3月31日		卒業・進級条件	卒業要件:																														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 定期的に担任による面談を実施し、継続して個別指導を行っている。学習内容や生活面等相談しやすい環境作りを行い、学生生活を総合的にサポートする。		課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ボランティア活動 ■サークル活動: 無																														
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 小野株式会社(手芸センタードリーム)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																														
■就職指導内容 校内にキャリアセンターを設置し、専任のキャリアコンサルタントが個別支援を行っている。また、「キャリア支援」の授業では、主体的に職業生活を送れるようキャリア形成の必要性を理解し、社会人基礎力の習得や、就職活動における一連の活動(マナー、履歴書の書き方、面接指導等)についてもフォローする。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パターンメイキング技術検定3級</td> <td>③</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ファッション販売能力検定3級</td> <td>③</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ファッション色彩能力検定3級</td> <td>③</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	パターンメイキング技術検定3級	③	5	5	ファッション販売能力検定3級	③	3	3	ファッション色彩能力検定3級	③	3	3													
資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																														
パターンメイキング技術検定3級	③	5		5																														
ファッション販売能力検定3級	③	3	3																															
ファッション色彩能力検定3級	③	3	3																															
■卒業者数 5人 ■就職希望者数 3人 ■就職者数 3人 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合 : 60%		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																
■その他 ・進学者数: 2人 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)		■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																																
中途退学の現状	■中途退学者 0名 令和3年4月1日時点において、在学者8名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者8名(令和4年3月31日卒業生を含む)		■中退率 0%																															
■中途退学の主な理由 -																																		
■中退防止・中退者支援のための取組 担任による面談を実施し、継続して個別指導を行う。 改善が見られない場合は、保護者に連絡し、校長を含めた面談を実施し、具体的な目標設定を行い、改善に導いている。																																		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・家族支援制度(納付金一部免除): 兄弟姉妹、保護者が学園グループ校の在籍者もしくは卒業生 ・再入学支援制度(入学金免除): 入学者本人が学園グループ校の卒業生または卒業見込者 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																	
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL:																																	
当該学科のホームページURL	https://mfw.mbc1946.ac.jp/fashioncreator/																																	

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項や、各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項、実務に必要な最新の知識・技術・技能に関する事項、その他教育課程の編成に関連する事項等について、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成に活かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、現状の教育課程の編成について、企業・業界団体等との連携により、企業等から必要となる最新の知識・技術・技能等について意見を求め、その意見を学内においてカリキュラム編成に十分活かす場として位置づけている。具体的には、委員より示された教育課程編成に係る意見を基に、学科長が主となり、教育課程やシラバスの改善、授業内容の充実等、素案が作成され、教務会議(月例会議)にて審議を行い、次年度の教育課程等に改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
村上 幸司	愛媛県縫製品工業組合 理事長	令和3年10月27日～令和4年3月31日(5カ月)	①
武智 弘晃	ディーゼルジャパン(株)松山店長	令和3年10月28日～令和4年3月31日(5カ月)	③
松岡 由紀子	学校法人松山ビジネスカレッジ 常務理事		—
室 利幸	専門学校松山ビジネスカレッジクリエイティブ校 校長		—
岡田 善雄	学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部長		—
重信 克也	学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部次長		—
大野 幸美	専門学校松山ビジネスカレッジクリエイティブ校 ファッションビューティ学科 学科長		—
神田 瑞穂	専門学校松山ビジネスカレッジクリエイティブ校 ファッションビューティ学科専任教員		—
智内 菜奈子	専門学校松山ビジネスカレッジクリエイティブ校 ファッションビューティ学科専任教員		—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年1月18日 15:00～16:00

第2回 令和4年3月29日 15:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

大手アパレル企業は高度な人材を求めており、学生のスキル・技術をどう高めていこうかが課題であるという意見を踏まえ、ファッション系の実践的教育については、愛媛県内のアパレル企業の工場で、アパレルCADを使用したパターンやグレーディングでの企業連携(工場見学、インターンシップ等)を行うこととした。そのための企業との交渉や紹介は愛媛県縫製品工業組合に協力いただいている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現場で活かせる知識や技術の習得と共に様々なシチュエーションに対応できる応用力を身につけることを目的とし、より職業を意識した授業展開を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

展示会やファッションショーなどの作品発表の機会では衣装制作者、モデル、ヘアメイク、ネイルのそれぞれの担当者がコミュニケーションをとりながらバランスよく成型された作品となるよう制作や施術を行うとともに、トータルにものを見る目を養いチームで仕事をする実習とする。成績評価については、各教科の担当者が評価項目と配点を設定し行う。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ヘアメイク実技・理論 I	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。	美容室『track time』
ヘアメイク実技・理論 II	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。	美容室『track time』
アパレル素材研究	新素材を使った商品開発と普及を行っている『アトリエ・トキ』と連携し、素材や副資材の正しい取り扱い方を実習で学び、商品企画や生産管理の現場で活かせる知識を身に付ける。	アトリエ・トキ
ネイル実習 I	『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級の取得を目指す。	Nail&Aroma リヤド
ネイル実習 II	『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級の取得を目指す。	Nail&Aroma リヤド

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

当法人の教職員研修規程に基づき、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために必要な知識、技能等の習得、及びその他職務遂行に必要な教職員の創造力、判断力、実行力等の総合的な能力の向上を図ることを目的として研修等を実施する。研修内容は、専攻分野における実務に関するもの及び授業及び学生に対する指導力の習得・向上に関するもので、(1)企業等と連携した各種研修・セミナーの開催、(2)企業等からの講師の招聘、(3)外部団体主催の研修への参加、(4)その他実務、指導力の習得・向上に関するものを推進する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	「3Dモデリングが巻き起こす革命が志望者増、就職率上昇を生み出す」	連携企業等:	一般社団法人ファッションデザインエンジニアリング協会
期間:	令和3年9月30日(木)	対象:	教育機関、学校関係者
内容:	第1部:ファッションビジネスに押し寄せるDXのカギとなる「3Dモデリング」それにより企画の短縮化、サンプルコストの削減、展示会の変容、ECにおける”ささげ作業”の削減による職場や働き方の波及効果。第2部:カリキュラムに先行導入した学校による導入までの経緯と課題。		
研修名:	美容部員の仕事と化粧品業界について	連携企業等:	株式会社アイスタイルキャリア
期間:	令和3年10月25日(月)	対象:	教員
内容:	国内化粧品業界の基礎知識、加速するデジタルシフト、外資と国内での美容部員の違い、これからの美容部員に求められること等		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	「学生の対人関係から見た心理的特徴と支援の検討」	連携企業等:	一般社団法人愛媛専修学校各種学校連合会
期間:	令和3年8月26日(木)	対象:	専修学校教職員
内容:	学生の対人関係から見た心理的特徴と支援について、①学生の発達段階を捉える、②心理的特徴と対人関係、③学生への支援計画(問題と支援の着目ポイント)、④保護者へのアプローチ等を学ぶことにより指導力を向上させる。		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	2023年春夏トレンドセミナー	連携企業等:	WWDJAPAN
期間:	令和4年11月15日(火)	対象:	WWD購読者他
内容:	海外コレクションの最新情報から国内マーケット展望、リアルトレンドの実態について		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	「専門学校経営における諸問題の解決のヒント」	連携企業等:	一般社団法人愛媛専修学校各種学校連合会
期間:	令和4年8月26日(金)	対象:	専修学校教職員
内容:	教えるから学ぶへの変更、先生が教える授業から、学生が学ぶ授業、学習者中心の学ぶへのパラダイムシフト。これからの教育のあり方について特に重視すべきことは①十分な知識・技能、②自ら解を見出していく思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度等		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、関連企業や保護者、地域住民などの学校関係者等が、自己評価の結果を評価すること等を通じて、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、学校運営の改善への協力を促進することを目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1.学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 2.学校における職業教育の特色は何か 3.社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか 4.学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	1.目的等に沿った運営方針が策定されているか 2.運営方針に沿った事業計画が策定されているか 3.運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか 4.人事、給与に関する規程等は整備されているか 5.教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか 6.業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか 7.教育活動等に関する情報公開が適切になされているか 8.情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3) 教育活動	1.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか 2.教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 3.学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか 4.授業評価の実施・評価体制はあるか 5.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか 6.資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか 7.人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 8.関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
(4) 学修成果	1.就職率の向上が図られているか 2.資格取得率の向上が図られているか 3.退学率の低減が図られているか 4.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 5.卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
(5) 学生支援	1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか 2.学生相談に関する体制は整備されているか 3.学生に対する経済的な支援体制は整備されているか 4.学生の健康管理を担う組織体制はあるか 5.課外活動に対する支援体制は整備されているか 6.学生の生活環境への支援は行われているか 7.保護者と適切に連携しているか 8.卒業生への支援体制はあるか 9.社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか 10.高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	1.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか 2.学内外、実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 3.防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ募集	1. 学生募集活動は、適正に行われているか 2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 3. 学納金は妥当なものとなっているか
(8) 財務	1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 3. 財務について会計監査が適正に行われているか 4. 財務情報公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか 4. 自己評価結果を公開しているか
(10) 社会貢献・地域貢献	1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか 3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者との意見交換により、自己評価の客観性、透明性が高まり、学校運営の改善に継続的に取り組んでいる。特に今年度はコロナ禍による学生への影響が懸念されており、臨床実習や臨地実習等制限されている取り組みもあるため、評価委員の意見を踏まえ、学生の精神的サポートや学習面でのフォローも含め、少しでも不安が軽減されるよう、教員が連携して学生指導に取り組んでいる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
北岡 尚子	株式会社アトリエ き・な・こ 代表取締役	令和4年2月1日～令和4年3月31日(2カ月)	企業等委員
平岡 宏幸	株式会社FAKIE\STANCE 代表取締役	令和4年2月9日～令和4年3月31日(1カ月)	企業等委員
増田 陽典	愛媛信用金庫 地域事業振興課長	令和4年2月17日～令和4年3月31日(1カ月)	企業等委員
水沼 陽子	松山女学院専門学校 卒業生	令和4年2月17日～令和4年3月31日(1カ月)	卒業生
山内 真由美	専門学校松山ビジネスカレッジクリエイティブ校 在校生保護者	令和4年2月17日～令和4年3月31日(2カ月)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

https://mbc1946.ac.jp/wp-content/themes/sela/pdf/r3/学校関係者評価報告書_松山ビジネスカレッジ%20クリエイティブ校.pdf

公表時期: 令和4年10月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業・業界団体等より、歯科業界の動向や求められる知識・技術等について情報提供していただき意見交換を行う中で、カリキュラムの見直しや、教育方法や授業内容の改善に継続的に取り組むことを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要(所在地、連絡先、沿革、教育理念等)
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育(教育内容、資格取得、カリキュラム、サポート体制等)
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育の取り組み、就職サポート体制
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動、教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金情報、各種支援制度
(8) 学校の財務	財務(収支計算書、貸借対照表、財産目録、監事監査報告書)
(9) 学校評価	自己評価、学校関係者評価報告書
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://mbc1946.ac.jp/info-out>

公表時期: 令和4年10月31日

授業科目等の概要

(服飾家政専門課程ファッションクリエイター学科 ファッションクリエイターコース/ファッションデザイナーコース) 令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			服飾造形Ⅰ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	1前	150	5			○	○		○		
2	○			服飾造形Ⅱ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	1後	180	6			○	○		○		
3	○			造形テクニック	素材や副資材の正しい取り扱い方を実習で学び、商品企画や生産管理の現場で活かせる知識を身に付ける。	1前	30	1			○	○			○	○
4	○			マテリアル/テキスタイルⅠ	テキスタイルは、実用的なものからアーティスティックなものまで表現ができ、「買っているもの」「使っているもの」から「創るもの」に変わっていく魅力を感じ、作品制作に活かす。	1前	30	2	○			○		○		
5	○			マテリアル/テキスタイルⅡ	テキスタイルは、実用的なものからアーティスティックなものまで表現ができ、「買っているもの」「使っているもの」から「創るもの」に変わっていく魅力を感じ、作品制作に活かす。	1後	30	2	○			○		○		
6	○			西洋服飾史	日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどの服飾文化を通して、流行の変遷やトレンドを読み解く力を身につける	1前	30	2	○			○		○		
7	○			クリエイションデザインⅠ	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける。バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う。	1前	30	1			○	○		○		
8	○			ファッションドローイングⅠ	服のデザイン構造を表現できるように、人体のプロポーションを基礎から学び、それぞれのオリジナルデザインスタイルを表現。	1前	30	1			○	○			○	
9	○			ファッション知識	ファッションの歴史とそれに基づく流行の変遷やアイテムの名称を学ぶ。	1前	30	1			○	○		○		
10	○			パターンメイキングⅠ-A	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。	1前	60	4	○			○		○		
11	○			パターンメイキングⅠ-B	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。	1後	60	4	○			○		○	○	

12	○		色彩学Ⅰ	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。	1前	30	2	○			○		○						
13	○		色彩学Ⅱ	商品企画やデザイン制作、接客において複数提案できる色彩スキルを身につける。	1後	30	2	○			○		○						
14	○		デジタル演習Ⅰ	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。	1前	30	1				○		○					○	
15	○		デジタル演習Ⅱ	デザイン業務で必要不可欠なソフトで、Adobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。	1後	30	1				○		○					○	
16	○		業界研究Ⅰ	各分野の第一線で活躍されている講師による特別授業。専門学校の授業が実社会でどのように結びついているのかなど、知識だけではない多方面から取り組む授業を実施。	1後	60	4	○					○					○	
17	○		マーケティング	ファッションブランドを立ち上げることを想定し、商品企画のために必要となるマーケティングを習得し、企画から販売までの総理解と商品を販売展開する知識を習得する。	1後	30	2	○					○					○	
18		○	ヘアメイク実技・理論Ⅰ	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように学習にする。	1前	60	2				○		○					○	○
19		○	ヘアメイク実技・理論Ⅱ	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように学習にする。	1後	60	2				○		○					○	○
20		○	ネイル実技・理論Ⅰ	『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級、JNAジェルネイル技能検定試験初級の取得を目指す	1前	60	2				○		○					○	○
21		○	ネイル実技・理論Ⅱ	『Nail&Aroma リヤド』と連携し、プロレベルのネイル理論と技術を身に付け、JNAジェルネイル技能検定試験 初級・中級の取得を目指す	1後	60	2				○		○					○	○
22	○		服飾造形Ⅲ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	2前	180	6				○		○					○	
23	○		服飾造形Ⅳ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	2後	180	6				○		○					○	
24	○		パターンメイキングⅡ-A	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本的理解を目指す。	2前	60	4	○					○					○	
25	○		パターンメイキングⅡ-B	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本的理解を目指す	2後	60	4	○					○					○	

26	○		舞台衣装Ⅰ	様々な動きを想定したパターンメイキング、素材選定、縫製技術を習得し、舞台衣装に関する特徴の理解を目指す	2前	30	1			○	○							○		
27	○		舞台衣装Ⅱ	様々な動きを想定したパターンメイキング、素材選定、縫製技術を習得し、舞台衣装に関する特徴の理解を目指す	2後	30	1			○	○								○	
28	○		色彩学Ⅲ	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。	2前	30	2	○			○								○	
29	○		色彩学Ⅳ	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。	2後	30	2	○			○								○	
30	○		デジタル演習Ⅲ	Illustrator、Photoshopを使ってマップ作成	2前	30	1				○	○							○	
31	○		デジタル演習Ⅳ	動画編集ソフトを使い、カット・テロップ・効果音など編集スキルを学ぶ	2後	30	1				○	○							○	
32	○		クリエイションデザインⅡ	デザインの発想や表現方法を習得し、ファッションデザインコンテストに応募し入選を目指す	2前	60	2				○	○							○	
33	○		クリエイションデザインⅢ	デザインの発想や表現方法を習得し、ファッションデザインコンテストに応募し入選を目指す	2後	60	2				○	○							○	
34	○		ブランド企画Ⅰ	マーケティングの授業を経て、学生ブランドの立ち上げのための企画・リサーチを行いブランド立ち上げの手順を学ぶ。	2前	30	2	○				○								○
35	○		ブランド企画Ⅱ	学生ブランドの運営の実習	2後	60	2					○	○							○
36		○	パターンメイキング3級筆記検定対策	パターンメイキング技術検定試験3級の筆記試験対策を主な目的とし、パターンメーカーに必要な基礎要素・基礎知識・技術の習得。	2後	30	2	○				○								○
37		○	パターンメイキング3級実技検定対策Ⅰ	デザインブラウスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。	2前	30	1					○	○							○
38		○	パターンメイキング3級実技検定対策Ⅱ	デザインブラウスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。	2後	30	1					○	○							○
39		○	研修	ファッションショーや展示会の見学など国内外での研修を行い、学生ブランドの運営に活かす。	2後	30	1					○								○
40	○		服飾造形Ⅴ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	3前	240	8					○	○							○

41	○		服飾造形Ⅵ	服作りに関するさらなる知識・技術の習得を目指し、オリジナリティあふれる作品を制作。	3 後	210	7			○	○	○		
42	○		卒業研究	学生生活の集大成となる作品を創り、ファッションショーによる作品発表とポートフォリオに残す。	3 後	150	5			○	○	○		
43	○		プロジェクト演習Ⅱ	企業連携による商品開発の実習	3 前	90	3			○	○	○		
44	○		クリエイションデザインⅣ	デザインの発想や表現方法を習得し、ファッションデザインコンテストに応募し入選を目指す	3 前	60	2			○	○	○		
45	○		クリエイションデザインⅤ	デザインの発想や表現方法を習得し、ファッションデザインコンテストに応募し入選を目指す	3 後	60	2			○	○	○		
合計						45 科目			2,910 単位時間 (117単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	全ての科目について成績評価で合格（60点以上）した者について、ディプロマポリシーに基づき教務委員会の議を経て卒業を認める。	1学年の学期区分	2期
履修方法：	必修科目については全科目を履修する。	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(服飾家政専門課程ファッションクリエイター学科 ファッションクリエイターコース/パタンナーコース) 令和4年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		服飾造形Ⅰ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	1前	150	5			○	○		○		
2	○		服飾造形Ⅱ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	1後	180	6			○	○		○		
3	○		造形テクニク	素材や副資材の正しい取り扱い方を実習で学び、商品企画や生産管理の現場で活かせる知識を身に付ける。	1前	30	1			○	○			○ ○	
4	○		マテリアル/テキスタイルⅠ	テキスタイルは、実用的なものからアーティスティックなものまで表現ができ、「買っているもの」「使っているもの」から「創るもの」に変わっていく魅力を感じ、作品制作に活かす。	1前	30	2	○			○		○		
5	○		マテリアル/テキスタイルⅡ	テキスタイルは、実用的なものからアーティスティックなものまで表現ができ、「買っているもの」「使っているもの」から「創るもの」に変わっていく魅力を感じ、作品制作に活かす。	1後	30	2	○			○		○		
6	○		西洋服飾史	日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどの服飾文化を通して、流行の変遷やトレンドを読み解く力を身につける。	1前	30	2	○			○		○		
7	○		クリエイションデザインⅠ	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける。バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う。	1前	30	1			○	○		○		
8	○		ファッションドローイングⅠ	服のデザイン構造を表現できるように、人体のプロポーションを基礎から学び、それぞれのオリジナルデザインスタイルを表現。	1前	30	1			○	○			○	
9	○		ファッション知識	ファッションの歴史とそれに基づく流行の変遷やアイテムの名称を学ぶ。	1前	30	1			○	○		○		
10	○		パターンメイキングⅠ-A	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。	1前	60	4	○			○		○		
11	○		パターンメイキングⅠ-B	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。	1後	60	4	○			○		○ ○		
12	○		色彩学Ⅰ	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		

13	○		色彩学Ⅱ	商品企画やデザイン制作、接客において複数提案できる色彩スキルを身につける。	1 後	30	2	○			○		○		
14	○		デジタル演習Ⅰ	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。	1 前	30	1				○	○		○	
15	○		デジタル演習Ⅱ	デザイン業務で必要不可欠なソフトであるAdobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。	1 後	30	1				○	○		○	
16	○		業界研究Ⅰ	各分野の第一線で活躍されている講師による特別授業。専門学校の授業が実社会でどのように結びついているのかなど、知識だけではなく多方面から取り組む授業を実施。	1 後	60	4	○			○			○	
17	○		マーケティング	ファッションブランドを立ち上げることを想定し、商品企画のために必要となるマーケティングを習得し、企画から販売までの総理解と商品を販売展開する知識を習得する。	1 後	30	2	○			○			○	
18		○	ヘアメイク実技・理論Ⅰ	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように学習にする。	1 前	60	2				○	○		○	○
19		○	ヘアメイク実技・理論Ⅱ	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように学習にする。	1 後	60	2				○	○		○	○
20		○	ネイル実技・理論Ⅰ	『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級、JNAジェルネイル技能検定試験初級の取得を目指す	1 前	60	2				○	○		○	○
21		○	ネイル実技・理論Ⅱ	『Nail&Aroma リヤド』と連携し、プロレベルのネイル理論と技術を身に付け、JNAジェルネイル技能検定試験 初級・中級の取得を目指す。	1 後	60	2				○	○		○	○
22	○		服飾造形Ⅲ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	2 前	180	6				○	○		○	
23	○		服飾造形Ⅳ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	2 後	180	6				○	○		○	
24	○		パターンメイキングⅡ-A	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。	2 前	60	4	○			○			○	
25	○		パターンメイキングⅡ-B	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。	2 後	60	4	○			○			○	
26	○		舞台衣装Ⅰ	様々な動きを想定したパターンメイキング、素材選定、縫製技術を習得し、舞台衣装に関する特徴の理解を目指す。	2 前	30	1				○	○		○	
27	○		舞台衣装Ⅱ	様々な動きを想定したパターンメイキング、素材選定、縫製技術を習得し、舞台衣装に関する特徴の理解を目指す。	2 後	30	1				○	○		○	

28	○		色彩学Ⅲ	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。	2 前	30	2	○			○	○		
29	○		色彩学Ⅳ	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。	2 後	30	2	○			○	○		
30	○		デジタル演習Ⅲ	Illustrator、Photoshopを使ってマップ作成。	2 前	30	1				○	○		○
31	○		デジタル演習Ⅳ	動画編集ソフトを使い、カット・テロップ・効果音など編集スキルを学ぶ。	2 後	30	1				○	○		○
32	○		クリエイションデザインⅡ	デザインの発想や表現方法を習得し、ファッションデザインコンテストに応募し入選を目指す。	2 前	60	2				○	○		○
33	○		パターンメイキングⅡ-C	パターンメイキング技術検定試験3級の筆記試験対策を主な目的とし、パターンメーカーに必要な基礎要素・基礎知識・技術の習得。	2 後	30	2	○			○	○		
34	○		パターンメイキング実習Ⅰ-A	デザインブラウスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。	2 前	30	1				○	○		○
35	○		パターンメイキング実習Ⅰ-B	デザインブラウスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。	2 後	30	1				○	○		○
36	○		アパレルCADⅠ	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ。	2 前	30	2	○			○			○
37	○		アパレルCADⅡ	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ。	2 後	30	2	○			○			○
38	○		創作パターン/サンプル縫製(メンズ・キッズ)	メンズ・キッズのパターンメイキングや縫製について学び、子供服ブランドの商品化に活かす。	2 後	30	1				○	○		○
39		○	研修	ファッションショーや展示会の見学など国内外での研修を行い、学生ブランドの運営に活かす。	2 後	30	1				○		○	○
40	○		服飾造形Ⅴ	パターンメイキングと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。	3 前	240	8				○	○		○
41	○		服飾造形Ⅵ	服作りに関するさらなる知識・技術の習得を目指し、オリジナリティあふれる作品を制作。	3 後	210	7				○	○		○
42	○		卒業研究	学生生活の集大成となる作品を創り、ファッションショーによる作品発表とポートフォリオに残す。	3 後	150	5				○	○		○

43	○		創作パターン/ サンプル縫製	製品から寸法を読み取り、パターン作成し縫製することでアパレルの縫製方法を習得する。	3 前	60	2				○	○			○
44	○		パターンメイ キングⅢ	パターンメイキング技術検定試験2級の筆記試験対策を主な目的とし、パターンメーカーに必要な基礎要素・基礎知識・技術の習得。	3 前	60	4	○				○		○	
45	○		パターンメイ キング実習Ⅱ	パターンメイキング技術検定2級の実技対策を主な目的とし、ジャケットのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。	3 前	60	2				○	○		○	
46	○		ドレーピング	絵型を読み取り、トワル制作する立体裁断を独力で出来る技術の習得を目指す。	3 後	30	1				○	○		○	
合計					46	科目	2,850 単位時間 (118単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 全ての科目について成績評価で合格（60点以上）した者について、ディプロマポリシーに基づき教務委員会の議を経て卒業を認める。		1学年の学期区分	2期
履修方法： 必修科目については全科目を履修する。		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。